

校長室からこんにちは

令和5年12月22日（金）



さとる君からのクリスマスプレゼント

今から29年前の4月22日金曜日のこと
です。初めて1年生の担任をした時、その日は、初めて
図書室で読書をしました。それぞれ本を選んで、席に座って読み始めて間もなく、さとる君がクリスマスの絵が描いてある本を持って私のところに来ました。彼は、「先生はXmasプレゼントに何が欲しい？」と、聞いてきました。妻が初めての子供を妊娠しており、間もなく予定日を迎えるので、私は「元気な赤ちゃんが欲しいな」と答えました。さとる君は「ふううん」と言って席に戻っていきました。しばらくして、またさとる君が来ました。さとる君は、「赤ちゃんって、卵で来るのかなあ？」と、私に尋ねました。私が、「どうかなあ。でも、なんでそんなこと聞くの？」と言うと、さとる君は「だって、Xmasプレゼントが卵だったら、サンタさんが運ぶとき割れちゃうかもしれないから…」と心配そうに話してくれました。続けて、「僕、先生にクリスマスプレゼントが届くようお願いしたいんだ。」と言いました。私は、「でも、そうしたら、さとる君のクリスマスプレゼント来なくなっちゃうよ」と言うと、「いいんだよ、先生にプレゼントあげたいんだよ。」とのこと。私は「ありがとうね、さとる君からのクリスマスプレゼントが届くといいな」と話しました。そして、その日の夜、調布駅の飯野病院で長男が生まれました。そして、4月25日月曜日の朝の会で「先生の家にも、さとる君からのクリスマスプレゼントが届きました！」と報告すると、みんな大きな拍手をしてくれました。さとる君はというと、皆に「すごい！」と言われ、少し照れながら拍手をしてくれました。子どもの発想ってステキですよ。



サンタさんは、何歳までXmasプレゼントをくれるのか と聞かれて

27年前、6年生の担任をしていた時の話です。

クラスの女の子たちが、休み時間に教室の私が座っている教師用デスクの周りに集まって、クリスマスのプレゼントについて話をしていました。私は、毎日の宿題である自由課題ノートのチェックをし、一人一人のノートにコメントを書きながらその話を聞いていました。すると、「サンタさんは何歳までクリスマスプレゼントをくれるのか」という話題になりました。子どもたちは、「先生はもうもらえないから、もらえるのは20歳までかなあ？」「いやいや、先生はそもそも良い子じゃないからもらえないんだよ！（笑）」などと、女子トークがさく裂していました。そして、その中の一人が「先生は何歳ぐらいまでだと思う？」と、たずねてきました。私はすこし考えて、『そうだなあ、みんなが「サンタさんより、この人からプレゼントをもらいたいな」と思う人が出てくるまでかな？』と、答えました。女の子たちは、私の言っている意味がよく分からなかったようで、今年はサンタさんに何を願うかという話題に移っていきました。

終業式には「深大寺小のよい子には、校長先生から、宿題のプレゼントがあります！」と話す予定です。子どもからは「サンタじゃなくて、サタンだあ！」っていう声が聞こえてきそうな気がしますが、冬休みになります。子供たちもあいさつをする機会が増えると思います。学校で学んだ礼節を発揮してほしいと思います。皆様よいお年をおむかえください。